

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	確認するところ	処置
■中せんからもれた	飲みものを入れすぎていませんか。	規定量になるまで飲みものを減らしてください。
	中せんが正しく、しっかり取りつけられていますか。	正しく取りつけてください。
	中せんが、破損・消耗していませんか。	別売の交換部品をお買い求めください。
	ポットの性能を保つため、中せんに空気抜きがあります。中せんをしめた状態で傾けても、飲みものがもれることがありますのでご注意ください。	
	食器洗浄機や食器乾燥機などを使ったり、煮沸していませんか。	
■飲みものが出にくい	中せんが正しく、しっかり取りつけられていますか。	正しく取りつけてください。
■保温(保冷)が効かない	熱い(冷たい)飲みものを入れていますか。	熱い(冷たい)飲みものを入れてください。また、あらかじめ本体内側を予熱(予冷)しておく効果的です。
	飲みものの量が少なくないですか。	飲みものが少ないと、十分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。飲みものを規定量になるまで入れてください。
	中びんが破損していませんか。熱湯をほぼ満量入れ、20~30分後本体を手でさわってみてください。	もし本体が温かいようであれば、お買い上げの販売店もしくはお客様相談窓口にご連絡ください。
■異臭がする	本体内側や中せんに汚れが付着したり、飲みものを長時間入れたままにしていますか。	ご使用後はきれいに洗い、十分に乾燥させてください。異臭がとれない場合はクエン酸をお使いください。
■プラスチック部分に線状や波状のように見える箇所がある	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質には支障ありません。	

※中せんは消耗品です。使用後1年を目安にご確認ください。

フレークスが発生した場合のご注意

まほうびんに湯を入れておくと、キラキラ光るものが目につくことがあります。これは「フレークス」と呼ばれ、湯の中に溶け込んでいるミネラル成分が化合して、ガラスびんの内壁に薄い膜を作り、これがはがれて浮遊したものです。フレークス自体は健康上有害なものではありませんが、もし発生した場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 規定量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
- ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水ですすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。

まほうびん安全マーク

全国魔法瓶工業組合
 この商品には左のようなマークがついています。このマークは安全性の確保と消費者保護のうえから経済産業省の指導のもとで全国魔法瓶工業組合が自主的に安全基準を定めこれに合格して与えられるマークです。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品背面に記載されています)

- ① ホームページ……… トップページの上ラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください)
- ② 販売店……… ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③ お客様相談窓口……… お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名	
GHA、GHB、GHC、GHD型	中せん
SJP型	中せん

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口  **0570-094891**

●受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489

●FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。

ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock

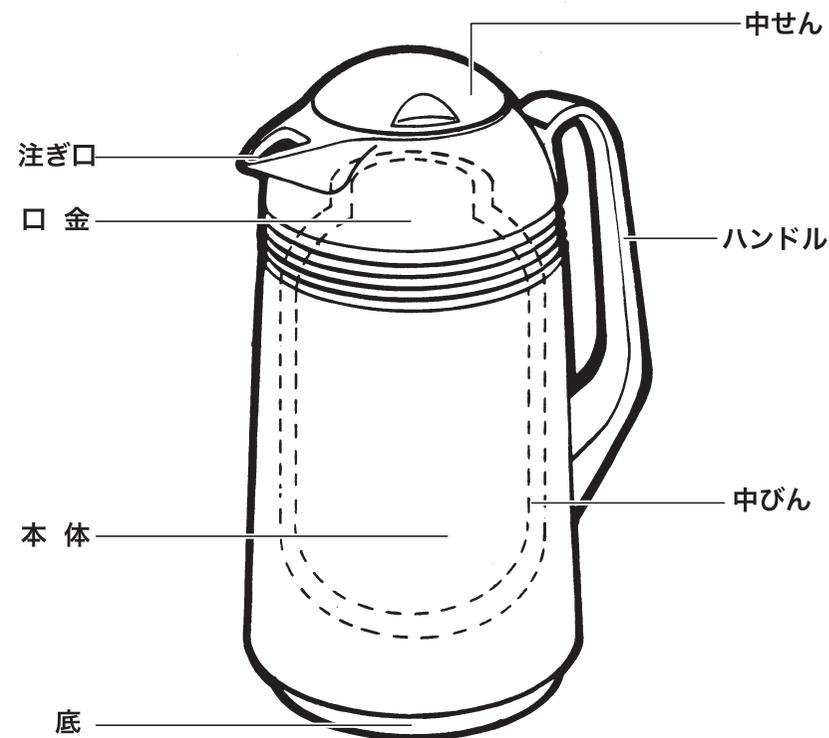
卓上用ポット 取扱説明書

GHA・GHB・GHC GHD・SJP 型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ

イラスト(図)はGHA・GHB・GHC・GHD型のものです。



※密閉構造ではないため、中せんをしめた状態で傾けると、飲みものがもれることがありますのでご注意ください。

必ずお守りください もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

飲みものの保温・保冷以外に使用しない

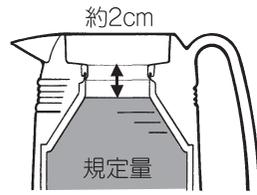
乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。
やけど・けがなど危険。



車などにのせての移動はしない。
やけど・汚れ・破損の原因。

持ち運びの際にはハンドルを持つ。
●傾けたり、横抱きしたりしない。
やけど・汚れの原因。

飲みものの量は、図の規定量までにする。
入れすぎると、もれ・あふれのおそれ。



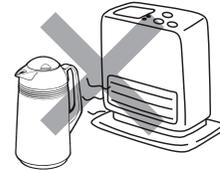
次のものは絶対に入れない。
●ドライアイス・炭酸飲料など
本体内の圧力が上がり、中せんがあかなかつたり、飲みものがふき出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。

●牛乳・乳飲料・果汁など
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。

●果肉・お茶の葉など
もれなど故障の原因。



ストーブやコンロなど、火のそばに近づけない。
変形・変色の原因。



熱いやかんを口金に触れさせない。
傷・変形・転倒してやけど・けがの原因。



倒したり、落としたり、ぶつかけたり、強い衝撃や振動(特に上下の振動)を与えない。
中びん破損の原因。飲みものが出てやけどのおそれ。



氷を入れる場合は先に飲みものを入れてから、ポットを少し傾け氷をすべらすように静かに入れる。氷を直接入れると、中びんが破損するおそれ。

- 本製品は火にかけたり電子レンジで加熱しない。 やけど・破損・故障の原因。
- 飲みものを入れた状態で長く放置しない。 腐敗・変質の原因。
- 使用後は必ず中せん、中びんをきれいに洗う。
- 熱いものを入れ長時間放置すると、内部が減圧され、中せんがはずしくなくなったり、はずすとき、音がある場合がある。
- 中せんを持って運ばない。
- 中せんは確実にセットして使用する。
中せんが落下して飲みものがこぼれたりやけどのおそれ。
- 飲みものを入れた状態では、横転させない。 飲みものもれることがあり危険。
- 傾けた状態や顔の近くで中せんをあげない。
飲みものや水蒸気が勢いよく出て、やけどなどのおそれ。
- 本体の丸洗いはしない。 水が侵入し、サビや他のものを汚す原因。
- 熱い飲みものを入れて使用するときは、本体を急に傾けずゆっくりと注ぐ。
やけどなどの原因。
- プラスチック袋(製品袋)を頭から被ったり、顔を覆ったりしない。
窒息するおそれ。
- 改造や分解修理はしない。 故障や事故の原因。
- 急熱・急冷などの強いショックを与えない。 中びん破損の原因。

ご使用方法

ご使用前に中びん・中せん・口金・注ぎ口は十分お手入れください。

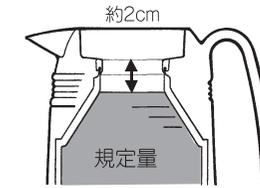
1 中せんをはずす

中せんを矢印の方向にまわしてはずす。



2 飲みものを入れる

中に飲みものを入れる。
※熱いやかんを口金に触れさせないでください。



※飲みものの量は図の規定量までにする。
入れすぎると注ぎ口からふき出ることがあります。
※保温(保冷)する場合は、あらかじめ少量の湯(冷水)を入れて1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。

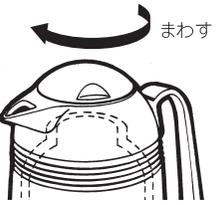


ご使用方法

つづき

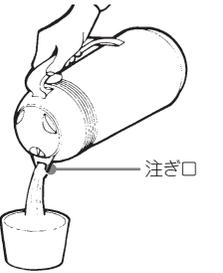
3 中せんをしめる

中せんを矢印の方向にまわして最後までゆっくりしめる。
※密閉構造ではないため、中せんをしめた状態で傾けても、飲みものもれることがありますのでご注意ください。
※中せんをしめすぎると、あけにくくなります。



4 飲みものを注ぐ

中せんを約半回転ゆるめて、傾け注ぐ。
※飲みものがいっぱい入っている場合は、少し傾けただけで飲みものが出るため、カップなどを注ぎ口に近づけてください。
※注ぎ口が斜めの状態で注ぐと、本体に飲みものが伝い落ち、テーブルなどを汚すことがありますのでご注意ください。



5 注ぎ終わったら

注ぎ終わったら、中せんを最後までゆっくりしめる。
※中せんは必ずしめてください。
ゆるめたままにすると、万一ポットが倒れた場合に飲みものが出たり、保温(保冷)効果が下がります。



お手入れ方法

ご使用後はいつまでも清潔にご使用いただくために必ずお手入れをしてください。

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

●本体外側

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふきとる。その後、水かぬるま湯を布に含ませ、固く絞り、ふく。※本体の丸洗いはしない。

●中びん

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、水分が残らないよう、乾燥させる。

●中せん

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い、十分にすすぎ洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ洗いはしない。